

平成28年度事業計画について

北陸新幹線開業から1年、関東・北信越方面からの多くの誘客を迎え、日帰り、宿泊者の増加により、予想以上の交流人口の増加、経済効果がでています。

能美市シルバー人材センターもこの賑いを地域の活性化に結びつけるため、新たな取り組みを展開していく必要があります。昨年、当シルバー人材センターは、10周年の節目を迎え、11月22日に感謝祭としてのイベントを開催し多くの市民の来場者をお迎えすることができました。これを一つの節目として、これまでの歩みを振り返るとともに、更なる発展をめざし、市民の期待に応えるべき社会貢献としての仕事をしていきたいと考えています。また、全国的に社会問題となっています空き家対策についても、市の政策など注視していく必要があります、シルバーの担う部分も出てきます。

これらのニーズに的確に対応するために、組織・体制づくりが必要となることから、センターはこれまで以上に会員との情報交換や環境づくりが必要となります。同時に会員の安全・適正就業についても引き続き法令遵守に努めてまいります。

市の福祉施策である「ちょこっとお助け隊事業」の協力会員を引続き募り、市と協調することでセンターが、地域社会を支える一員となるよう活動の輪を広げていきたいと考えています。

そこで、本年度も地域に必要とされる活力あるセンターを目指して、以下の事業を実施してまいります。

1. 就業機会拡大事業

センターは会員と協力しながら情報収集に努め、顧客の継続はもとより、新規の事業所、公共、一般家庭からの受注の掘り起こしに努めます。又、今後需要が見込まれる介護予防、日常生活支援事業等への適切な対応をするために組織づくりと受入れ態勢の整備を図り、新たな分野での就業機会の拡大に努めます。

- (1) 会員募集とセンターの仕事内容を照会したチラシを市内全戸に配布し周知するとともに、新規の仕事と会員を増やすことで就業機会の拡大に努めます。
- (2) 団塊世代の人たちの新規入会と勧誘に努めるとともに、女性会員の会員増にも努め、センターの女性比率を高めます。
- (3) センターが福祉関係事業に適正に対応できるよう、講習会等に参加して

基礎知識と技能の習得に努めます。

- (4) 地区間を超えた相互協力により、市民ニーズに適切に応え、会員の就労機会の均等性と就労意欲の継続を図っていきます。

2. 独自事業の推進

- (1) 能美市の特産物「加賀丸いも」の栽培を通して、会員の就業機会の確保と丸いもの販路拡大に努めます。
- (2) チップ堆肥化事業を引続き民間企業と連携して行い、チップの活用と焼却ゴミ減量のため、剪定枝葉チップ化事業を継続して行います。
- (3) 会員有志で運営しているゆず栽培においては、里山保全に関心を持ち、ゆず山の管理とゆず栽培関係者との連携を図り、製品開発や販売方法を探っていきます。

3. 普及啓発活動の実施

シルバー人材センターの業務と活動内容を広く市民や企業等へ周知するために普及啓発活動を行い、会員の新規入会と勧誘に努めます。

- (1) 公共機関との連携を深め、公共関連事業の受注拡大に努めます。
- (2) センターの活動状況をメディア等で紹介する機会を捉え、シルバーに対する認知度を効率的に高めていきます。
- (3) 「ちょこっとお助け隊事業」に協力するシルバー会員の増員に努め、地域福祉活動に引続き協力する。
- (4) 各種イベント等に参加することでPR活動を行い、広く市民に周知するよう啓発活動を行う。

4. 安全就業の推進

会員の事故防止を図るため、現場巡回パトロール、安全作業の周知徹底を図ります。又、会員の意識を高めるために安全就業大会、安全衛生教育、運転適性講習会等へ参加することで安全就業に努めます。

特に、作業に取り掛かる前の安全確認と健康状態の報告を行うことを周知していきます。

5. 技能講習会の開催

高齢者の就業機会の拡大と就業の促進のため、県連合会が行う技能講習会としてのシニアワークプログラム事業及び高齢者活躍人材育成事業を活用して会員の技能向上に努めます。

6. 適正就業の推進

県連合会と連携を図り、請負・委託業務と派遣事業を明確に区分しながら、シルバー事業本来の機能的活用と円滑な業務を推進して会員の適正就業に努めます。有料職業紹介事業についても同様に進めます。

7. 組織体制の充実

(1) 公益社団法人の認定基準に従い、センターの適切な運営に努めます。

(2) 職群班を中心に業務の効率化と組織全体の円滑な運営を図ります。

又、各地区間の相互協力を活用して、組織全体の機能性を高めていきます。

(3) 会員と事務局との情報交換を密に行い、顧客ニーズの把握に努めることでセンターの機能と信頼度を高めていきます。

8. イベント事業の開催

昨年開催した10周年記念イベントで得た市民との交流を一回限りではなく、これからも会員と一体となって感謝祭としてのミニイベントの継続的な開催をしていきます。

そして、自主事業で収穫した丸いも、ゆずなどの販売を通して、シルバーに対する認知度を高めていきます。